



お客様各位

SMA ジャパン株式会社
〒105-0014
東京都港区芝 3-23-1
セレスティン芝三井ビル 8 階
日付 2017 年 6 月 6 日

弊社パワーコンディショナの出荷検査時の耐電圧試験について

拝啓、貴社ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。早速ですが、掲題の件につきまして以下にてご連絡申し上げます。

敬具

記

【対象製品】

サニートライパワー(三相) STP 60-JP-10

【試験条件】

交流および直流端子を短絡したものと筐体アース間にDC3400Vを1秒間印加し、異常のないことを確認する。

【印加電圧および時間の根拠】

JEC2440(2013) に準ずる。

6.4.3.1項「交流耐電圧試験」において、対象製品は b) 2) の「変換装置用変圧器がない変換装置」に分類され、 U_{LN} は600V以下（低圧）かつ $U_M=1000V$ であるため、試験電圧は表20の「交流試験電圧実効値(V)= $U_M/\sqrt{2+1200}$ 」を適用する。

従って試験電圧は以下のように算出される。

$$\begin{aligned} &1000/\sqrt{2+1200} \\ &=1907VAC \end{aligned}$$

6.4.3.1項 a) 10)に「交流試験の波高値に等しい直流電圧としてもよい」と記載があるため、1907VACの波高値2697Vを上回る3400VDCでの試験電圧を採用する。

また、同項 a) 12)に「ルーチン試験では規定の電圧を1秒間印加すれば十分であり、また、印加電圧を徐々に上昇させる必要はない」と記載があるため、1秒間の印加時間を採用する。

以上